

2024年8月27日
平和フォーラム発第33号

中央団体
各 御中
都道府県運動組織

フォーラム平和・人権・環境
事務局長 谷 雅志

平和フォーラム「2024 ピーススクール」の開催について

日頃の活動に心から敬意を表します。

さて、昨年に引き続き、本年も「ピーススクール」を開催いたします。

つきましては、下記のような内容で開催いたしますので、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

記

1. 開催にあたって、平和フォーラムが置かれている現状と課題

ウクライナやパレスチナを理由とし、「台湾有事」や朝鮮半島の緊張など、必要以上に緊張状態をあおる日本政府の現状に対して、若い世代を中心に「平和という理想を掲げるだけでなく、具体的に国防をすすめていったほうがいいのか」といった空気感が一定存在している状況です。また、自民党総裁選をメディアがこぞって取り上げるように、人気取りを第一とするポピュリズム政治が横行し、本来行われるべき政策議論は蔑ろにされています。

一方で、実質賃金が上がらないままに物価高は進行し、市民生活は苦しくなる中、旧統一教会問題や裏金問題など数々の政治の不正も明らかとなりました。今、必要なことは、軍備拡大よりも生活の改善であるはずですが、さらに、集団的自衛権行使を容認した安保法制（戦争法）や共謀罪、重要土地規制法の強行採決、地方自治法の一部改正や自衛隊法の改正、防衛予算の拡大や武器輸出の解禁などにより「戦争できる国作り」が進められています。さらに政府は、原発再稼働をはじめとする原発政策を推進し、放射能汚染水の海洋放出、辺野古新基地建設強行し、改憲発議・国民投票実施に向けた動きを一層強めています。

平和フォーラムがとりくむ課題は拡大するばかりか、その困難さも増しており、さらなる組織強化が必要であるとともに、若い世代に対し様々な課題を丁寧に伝えるための取り組みとその参加機会の拡大が求められています。中央団体・地方組織がそれぞれ工夫し、若い世代へのアプローチを行っています。平和フォーラムでは、そういった各組織のアプローチを横断的とりくみとするため、「ピーススクール」を開催します。

労働組合において「平和と人権の意義、役割をより丁寧に宣伝する活動」の重要性が増しており、「次代を担う人材の育成」が組織強化には欠かすことができません。目的意識的に、かつ柔軟に対策を講じていく必要があります。沖縄平和行進や原水禁運動などの具体的なとりくみを通じて若い世代が参加し交流できるよう工夫することが求められています。

まずは参加者が平和課題に触れ、それぞれの職場や地域で活動に参加することを目標としたピーススクールへの積極的な参加をお願いいたします。

2. 平和フォーラム・ピーススクールについての基本的な考え方

中央加盟組織や都道府県運動組織を担う人材育成を目的に、研修を通じて平和運動や原水禁運動、人権・環境問題などの置かれている現状や課題を共有・議論し、将来の平和運動を担う次代の担い手や活動家を養成していく取り組みを進めます。

3. 平和フォーラム・ピーススクールの具体的な目標

- ① 次代の中央加盟組織や都道府県運動組織を担う人材育成を目指し、そのためのモチベーションの醸成、知識の向上などを目指します。
- ② 全国の仲間たちとの交流を通じて、連帯感を強め、平和フォーラムのネットワークの拡大を図ります。
- ③ 毎年の開催に向けて定着を図ります。

4. 日程（予定）

1日目：10/18（金）

- 12：30～13：00 受付開始・参加者集合【日本教育会館】
- 13：00～17：30 開講式・講座・ワークショップ
- 18：30～20：00 夕食交流会

2日目：10/19（土）

- 8：30～9：30 参加者集合【日本教育会館】
 - 9：30～13：30 講座・ワークショップ・昼食
 - 14：00～15：00 フィールドワーク「19日行動」（戦争させない・9条壊すな！
総がかり行動実行委員会主催）【議員会館前】
 - 15：00～16：00 国会見学・議員懇談
- ※夕食各自

3日目：10/20（日）

- 8：30～9：00 参加者集合【日本教育会館】
- 9：00～12：30 講座・ワークショップ・閉講式
- 14：00～16：15 映画上映「戦雲」（自由参加）

5. 宿泊

日本教育会館周辺で、事務局でまとめて手配いたします（宿泊・朝食付き）。詳細につきましては、別途ご案内いたします。

6. カリキュラムと研修の進め方

- ① 対象課題は憲法、原水禁運動、平和運動、人権課題、フィールドワーク等。
- ② 1テーマの時間は質疑を含め60分程度。その後30分程度で講義の簡単なまとめやグループ討論を行います（休憩含む）。適宜、ワークショップを行います。
※カリキュラムの詳細は、後日改めてお知らせいたします。

7. 参加対象

中央団体・地方組織の推薦により40歳以下くらいの方。36人を目途とします。
なお、女性の積極的な参加をお願いします。

8. 夕食交流会

初日講義終了後、交流会を開催します。二日目の夕食は各自とします。

9. 事務局の体制

平和フォーラムを中心に、8人の事務局体制とします。

10. 案内と募集について

この發文をもって募集を開始し、申込締切は9月30日（月）とします。

なお、応募者が40人を超える場合は調整させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。別紙申込書に記載し、FAXまたはメールでお知らせください。

11. 参加費

1人30,000円とし、後日、申込団体に請求書を送ります。この中には、2泊分のホテル代（朝食付き）、夕食交流会1回、昼食1回（19日）を含みます。フィールドワークの電車代（400円程度）につきましては、参加者各自で負担をお願いします。

なお、参加者の会場までの旅費・交通費は、平和フォーラムから、後日、所属団体が負担した額を所属団体にお支払いします。参加費・旅費の精算は、ピーススクール終了後に、平和フォーラムと各団体との間で行います。

12. 会場交通アクセス（別紙参照）

13. その他

- ① 最終日10月20日（日）には、14時より日本教育会館にて、「戦雲」（2024年／日本／132分／監督・三上智恵）の上映を行います。ドキュメンタリー映画の鑑賞を通し、

沖縄・防衛・政治・人権の問題と幅広く学ぶことができる機会です。是非、あわせてご参加ください。

② 開催案内チラシ、2023 年の報告集データ、「戦雲」上映案内チラシを添付いたします。

以上

2024 ピーススクール 参加申込書

記入日 年 月 日

申込団体		記入者	
------	--	-----	--

(よみがな) 参加者名	所属団体名・役職		
	年齢	喫煙	本人携帯番号

※ 「喫煙」覧は、宿泊予約のための確認です。宿泊ホテルの都合により、ご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

※ 携帯番号は非常時の連絡用で、事務局以外に公開しません。

※ 平和フォーラム【担当：橋本・近藤（和）・金】

TEL 03-5289-8222 FAX 03-5289-8223

e-mail office@peace-forum.top

別紙 会場交通アクセス

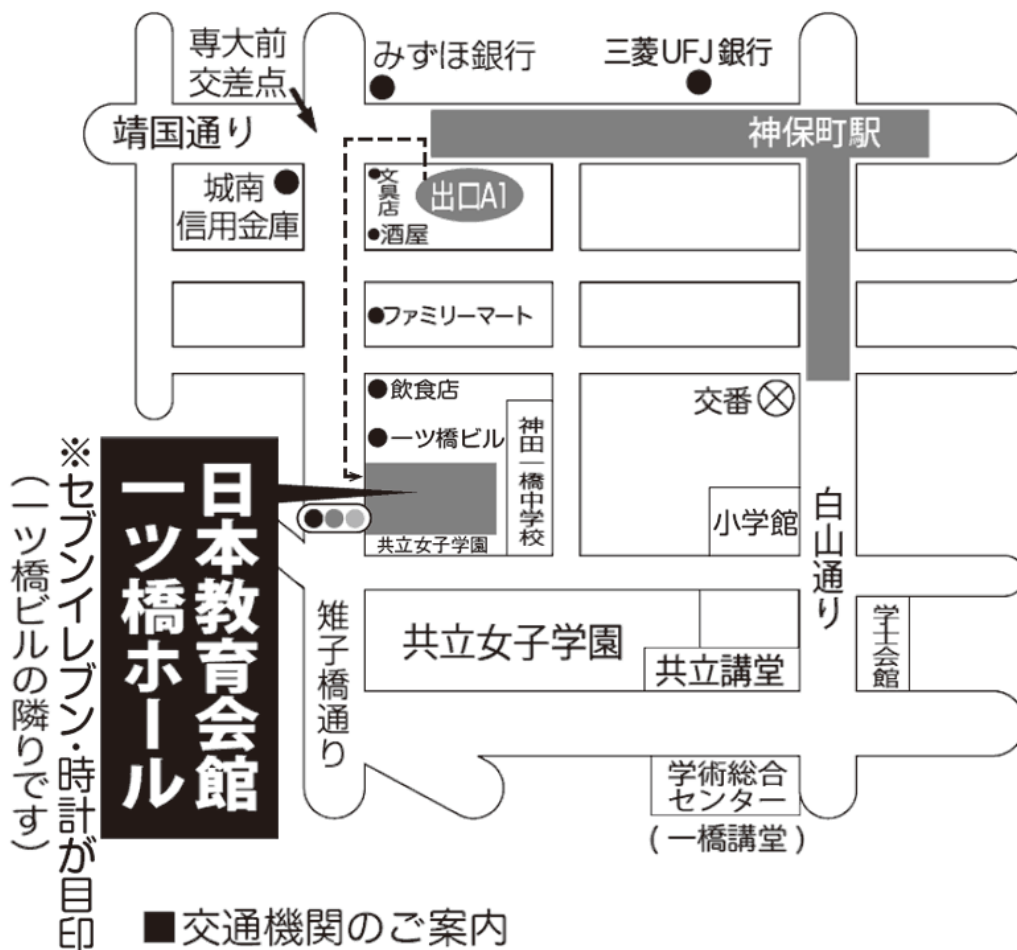
地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅（A1 出口）下車徒歩 3 分

東京駅からの主なアクセス

東京駅－（丸ノ内線・池袋方面）－大手町駅－（半蔵門線・中央林間方面）
－神保町駅（約 15 分）

羽田空港からの主なアクセス

羽田空港－（京浜急行・品川方面）－泉岳寺－（都営浅草線・押上方面）－
三田－（都営三田線・西高島平方面）－神保町（約 1 時間）



※セブンイレブン・時計が目印
(一ツ橋ビルの隣りです)

日本教育会館
一ツ橋ホール